ＮＰＯ法人熊本まちなみトラスト
（ＫＭＴ）
の活動実績と未来への目標

熊本まちなみトラストは、「記憶の継承」を基本理念として1997 年に設立し、熊本市の近代化遺産、新町古町の町屋の保存活用に取組んできました。

平成 28 年熊本地震ではそれらの文化遺産が壊滅的な打撃を受けました。そこで、震災からの創造的復興を推進するために2017 年にＮＰＯ法人の認証を受けました。

この冊子は、震災までの 19 年間と、震災後の３年間の活動を振り返るとともに、未来に向けた活動目標を明らかにすることを目的としています。ご高覧いただき私たちの活動にご賛同いただければ幸いです。

目　次

１．1997 年設立後 20 年間の活動実績／ P2
２．2017 年ＮＰＯ法人設立後の活動実績／ P8
３．未来に向けた活動目標／ P11

NPO法人熊本まちなみトラスト
〒860-0078熊本市中央区京町1-8-24
株式会社人間都市研究所　内

KMT
KUMAMOTO MACHINAMI TRUST

電話096-326-6611　FAX096-326-6612
E-mail：info@kumamoto-machinami-trust.org
HP：kumamoto-machinami-trust.org

熊本まちなみトラストが取組んだ主要プロジェクト（ＮＰＯ設立以前 1997-2016）

① 旧第一銀行社屋（現PSオランジュリ）

前身の古町研究会がかねてから見学会を開催するなどして注目していた 1919（大正 8）年建造の旧第一銀行熊本支店社屋がマンション用地として買取られたことを知り、シンポジウムの開催、街頭署名等のキャンペーンを行いながら買い戻して活用する使い手を探す活動を 10 ヶ月続けた結果、優良な買取り手が現れ保存・活用が実現した。この保存運動が契機となって熊本まちなみトラストが設立され、古町研究会は発展的に解消した。1997 年のことであった。

同銀行支店社屋を買取った空調機器メーカーPS㈱は、同銀行建築を研究所兼ショールームとしてリノベーション。平成 28 年熊本地震では激しく被災したが、社屋が 100 歳を迎えた 2019 年、さらなる 100 年を見据えて復旧工事に着手することを宣言した。

ライトアップされたPSオランジュリを
坪井川にかかる明十橋から望む

復旧工事中の仮囲いに掲げられた看板（2019 2.23）

② 旧日本勧業銀行熊本支店 保存活動

左記第一銀行は、1971 年に勧業銀行との合併で第一勧業銀行（現みずほ銀行）となり熊本支店は花畑町にある 1933（昭和 8）年建造の旧勧銀社屋に機能移転した。その第一勧業銀行支店社屋の建替え計画が 1998 年に持ち上がった。旧第一銀行の時と同様シンポジウムや街頭署名のキャンペーンを建築士会や JIA 建築家の会と共同で行った。花畑町という目立つ場所にあったために市民の関心も高まったが、残念ながら 1999 年夏に解体取り壊しとなった。

1998 年 6 月には金融監督庁が発足しバブル経済後の不良債権処理が社会問題となっていた時期、地域の文化遺産としてかけがえのないないものも、むしろ不良資産と見なされたことを本店（東京）へのヒアリングでは痛感した。

1999 年取り壊し直前撮影

1933（昭和 8）年 6 月 28 日の九州新聞では「熊本城を背景に偉容を誇る」という見出しで竣工の模様を伝えている。

1999 年 9 月 8 日解体工事現場

⑤ 河原町プロジェクト

戦後の闇市の火災の後に 1958（昭和 33）年に建設された河原町繊維問屋街が長い年月を経てシャッター街と化していたところへ熊本まちなみトラストメンバーとその仲間の呼びかけに応じて、出店したいという若者が現れた。熊本まちなみトラストは「全国都市再生モデル調査 2003 年度／内閣府」の選定を受け、権利関係の調査、共用部分の改修、家主さん折衝をはじめとする入居者支援等の活動を行った。10 店舗ほどの集積に達した段階で、熊本まちなみトラストは手を引いて出店者の自治的な運営に任せることになったが、その後、若きクリエーター達の集積は 20 店舗ほどに増え、九州におけるリノベーション事業の嚆矢として全国に知られるところとなった。

2001 年 12 月 リノベーション以前

2004 年 6 月 アートの日

2003 年 3 月 1号店オープン

2005 年 5 月 フリーマーケット

⑥ JR上熊本駅舎の活用保存

昭和 2 年建造のJR上熊本駅舎が鉄道高架事業にともない解体されることになり、熊本まちなみトラストは地元自治会、商店街、崇城大学と共同してまずは 2003 年 6 月 29 日駅舎の清掃とミニシンポからはじめ、同年 11 月の「草枕の駅コンサート」の日に「JR上熊本駅舎を活かす会」を発足させた。この会は 2006 年 7 月 1 日に市電の電停上屋として保存活用が達成したあとも今日まで活動を続け、JR上熊本新駅舎と駅前広場の設計ワークショップにも加わり、一定の成果をあげている。駅舎保存の過程では、2度ほど「不可能」の壁に突き当たったが、他分野の団体も巻き込み活動を拡大しながら突破し、最終的に市長（幸山市長／当時）の英断を得ることができた。

2006 年 7 月 1 日 駅舎移築完成イベントのポスターとイベントの様子

③ 後藤商店

11 間の間口を持つ大正期の大商家は、後継者からの相談を受けた 1999 年から熊本まちなみトラストの支援プロジェクトの一つとなった。夏季限定でカフェとマルシェを開業して条件の合う借り主を探す活動や、市の景観形成建造物に指定された後に屋根と外壁、一部内装の改修を行った際にはアドバイスを行った。1919（大正 8）年に建造されて以来続いていた金物店としての営業活動から後継者のピアノのレッスン場やスタジオとしての事業内容にあわせた改修であった（後藤商店という法人は存続していた）。

平成 28 年熊本地震で激しく被災しが、文化遺産としての価値を保存した復旧工事に 2019 年 3 月着手した。ところが、同年 11 月 16 日、原因不明の出火で、改修工事半ばで完全焼失した。

2005 年改修後の後藤商店

2019 年 11 月 16 日夜火災発生、全焼

④ 熊本紡績（月星化成熊本工場）

1894（明治 27）年に赤煉瓦の近代的工場として竣工した熊本紡績㈱の工場は、戦後月星化成㈱の靴製造工場として使い続けられたため、市民には月星化成の工場として親しまれていた。その工場敷地が公共用地として売却されることになり 2002 年に工場は閉鎖された。熊本まちなみトラストは、実測調査や見学会などのキャンペーンを行いながら、明治期の工場建築の一部を保存しながら新たな公共施設へと再利用する案を作成し関係機関に提案した。県・市の協力も得て一部保存の可能性が高まったが、結果的に敷地内の建造物は全部取り壊して新施設を建設することに決定された。

そこで、一部でも移転保存の引き取り手を捜すことに方針転換したところ、熊本学園大学が電気室を引き取り産業資料館として活用されることになった。

2002 年 3 月月星化成工場見学会

敷地内にあった診療所も個人がひきとられフラワーデザイン教室等に再利用されている。右の熊本学園大学産業資料館もともに国の登録有形文化財となり経済産業省の近代化産業遺産にも選定された。

2003 年 12 月電気室の移転工事竣工披露

⑦ ベロタクシーの運営支援

ベロタクシーのベロはドイツ語で自転車のことだが、後ろに客席があり電動アシストの付いた三輪自転車を世界統一の仕様でNPOが提供している。2005 年の新町古町ワークショップに参加した熊本学園大学大学院生の 2 人が、このベロタクシーの運営を始めたいと語り始め、熊本まちなみトラストと地元世話役が応援団となった。大学院学生たちはNPOを立ち上げ運営にあたったが、ドライバーには他大学の学生や市民も大勢加わった。

熊本まちなみトラス事務局のあるビルの 1 階駐車場に 3 台のベロタクシーを常駐し新町古町の歴史を語りながら案内する若者たちは、付近のクリニックへの通院者や観光客に大いに人気を博したが、経営面から厳しい状況に陥り 2005 年から 2008 年までの 3 年間で幕を閉じた。

地域の方たちの福祉の足となることを最優先させる、という目的から、NPOの名称は「ホスピタリティネットワーク」とした

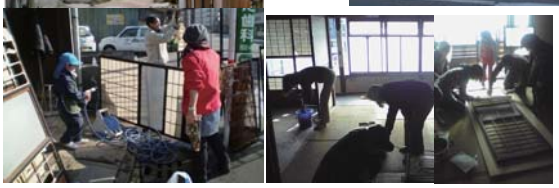
2007 年 5 月 15 日　出発式の記念撮影

⑧ 新町古町町屋活用

2011 年の新幹線開業を前に、熊本駅と都心の間にある新町古町地区の活性化支援を熊本県、熊本市が相次いで打ち出し、熊本まちなみトラストも行政からの発注で「町屋調査」を実施。第 1 次調査は 2007 年 11 月 3 日、地域住民の方も加わり開始したが（下記写真）、これが新町古町の町屋活用支援のはじまりとなった。

2010 年、2011 年は「町屋体験の日」と銘打ったイベントで特定の町屋を使った大掃除や障子張りワークショップと交流会、町屋巡りを行った。このイベントで町屋を使いたいという人も現れ、空き店舗への誘致も実現した（新町モヒカンポシェット、古町季器家）。

2007 年 11 月 3 日　明八橋上で調査WS



町屋体験の日

主な活動

1 **1997** 平成９年

4.25●設立総会（於．熊本商工会議所）［旧第一銀行社屋保存のための『使い手探し』に徹した活動路線を確認］

970712/上通同仁堂スタジオライフ　**設立記念シンポジウム『蘇れ！熊本んまち』**

建築評論家・長谷川尭氏／文化庁調査官（当時）・後藤治氏

2 **1998** 平成10年

4.25●会員総会（於．熊本ピーエス研究所（仮称））**１周年記念講演会『旧第一銀行の建物について』村橋昭久氏**

ディスカッション／フラメンコ／懇親会

3 **1999** 平成11年

990529　後藤商店見学会

6.26●会員総会（於．ピーエス熊本センター）：**シンポジウム（５部会報告と討論）／ウォーキング・トレイル唐人町～後藤商店**

991222 ピアッツァ・チリエージョ　年末交流会・・藤田邦昭氏を囲む

4 **2000** 平成12年

5.20●会員総会（於．桜町・西嶋亭）：**NPOネットワーク全国交流会 in 熊本『じきたくり』**（HC財団に協力）

001110 上通同仁堂スタジオライフ　**21世紀への遺産「熊本の近代建築」シンポジウム**　主催：熊本県建築士会 へ参加

5 **2001** 平成13年

010505-06 佐世保アルカス　教会建築フォーラム参加

0107 女性建築士の会全国大会in熊本に協力

6.9●会員総会（於．後藤商店）：**後藤商店オープンハウス**

６月いっぱいオープンハウスは続き、７月８月の夜間ビアガーデンとしてオープン

９月：使い手候補３社から企画書の提出をいただき、検討協議を重ねるが不採用

011006-07 全国まちづくり屋台村in名古屋へ出展

011207 PSオランジュリまちなみ交流会

6 **2002** 平成14年

020206/　熊本城フォーラム（読売新聞社主催）に参加

7.6●会員総会（於．後藤商店）：**後藤商店ビアガーデン**

021021/PSオランジュリ　ミニシンポ「熊本市中心市街地の活性化」に参加

021130/PSオランジュリ　**第１回まちなみ交流会**（熊本まちなみトラスト主催）

7 **2003** 平成15年

0305245☆☆日本建築学会九州支部業績賞受賞［受賞者：ピーエス株式会社］

030515☆☆BELCA賞（ベストリフォーム部門）受賞［受賞者：ピーエス株式会社］

6.14●会員総会（於．後藤商店）：**後藤商店**納涼茶房

031117／県立体育館　**JR上熊本駅舎の保存活用を考えるシンポジウム**　12月●泰泰オープン

8 **2004** 平成16年

5.29●会員総会（於．PSオランジュリ）：**熊本城へ市電でGO！**

040811／市民会館　**JR上熊本駅舎の保存活用を考えるシンポジウム・第２弾**

0407～改装検討支援

↓

9 **2005** 平成17年

050310/　**後藤商店**改装竣工

5.28●会員総会（於．泰泰）：**ボンネットバスで城下町巡り**

12.26●臨時総会（於．泰泰）：**会長改選**／ベロタクシー支援／等

【石原靖也会長から西嶋公一会長へ】

050806-07 全国都市再生まちづくり会議① へ出展・参加

10 **2006** 平成18年

6.3●会員総会（於．PSオランジュリ）

シンポジウム歴史的環境の継承　Ⅰ活動報告　Ⅱまちなみ交流会　Ⅲ講演：東川隆太郎氏『世間遺産をはやらせたい』

0604☆☆藤田賞（再開発コーディネーター協会）受賞

0605☆☆日本建築学会九州支部業績賞受賞

060704☆☆都市再生本部（首相官邸）「まちづくりの担い手」事例報告（熊本まちなみトラストの活動を中心に）

060805-06 全国都市再生まちづくり会議② へ出展・参加

060930 長六橋研究会最終レポート報告会●

11 **2007** 平成19年

070128 『きゃあめぐろ』：新町古町立ち寄り処お披露目イベント

070401 熊本市小島町・浜田醤油**見学会**

7.15●会員総会（於．PSオランジュリ）

九州伝承遺産ネットワークシンポジウムin熊本　Ⅰトークセッション☆特別講演：加藤康子氏「九州世界遺産トレイル」

0706☆☆国土交通大臣賞受賞（まちづくり月間）　Ⅱ街歩き　Ⅲ懇親会

071103 新町・古町町屋調査ウオッチング＆WS

12 **2008** 平成20年

081004-05 全国まちづくり会議④［in北海道］へ出展・参加

6.28●会員総会（於．西村邸）

交流会『私の城下町再考』　Ⅰ講演と意見交換☆松崎範子氏「見図帳に見る江戸時代の西唐人町」／北野隆氏「熊本の町屋と城下町」

Ⅱ見学会（北野先生にご案内いただき西村邸拝見）

13 **2009** 平成21年

090310-0410 新町古町**町屋ライトアップ**

6.14●会員総会（於．PSオランジュリ）

シンポジウム『歴史的環境の今に気づき未来を築く』　Ⅰ講演：矢野和之氏／Ⅱ町屋見学会

090921-22 全国まちづくり会議⑤［in川崎］へ出展・参加

14 **2010** 平成22年

091223-100116 新町古町**町屋ライトアップ**

6.26●会員総会（於．かね屋）

見学会：冨重写真所・中島屋

101008-09 全国まちづくり会議2010in熊本　出展・参加

101204 けんちく寿プロジェクト【北署の二十歳を祝う】見学会と座談会（実行委員

15 **2011** 平成23年

110311『担い手支援』報告書提出（担い手推進機構へ）

110322『アンケート報告書』納品（熊本市都心活性推進課へ）

7.23●会員総会（於．後藤商店）

見学会：町屋巡り（新しい使い手の参入）

111001-02 全国まちづくり会議2011in埼玉　出展・参加

111112 けんちく寿プロジェクト【２つの医師会館を巡って】見学会と座談会（実行

特定課題　×解体　×解体　①～⑨：基幹的プロジェクト　▼街頭署名活動　▼特定課題に対応したシンポジウム開催等

① 旧第一銀行社屋

食糧会館　再建研究

旧長六橋活用研究

写真展『失われた近代建築遺産』970811-30/ギャラリー桜樹
970909-15/鶴屋百貨店１階ステップ画廊
971001-07/上通郵便局プラザU
11月：ピーエス☆買取意志表明

9月：街頭署名①
10月：街頭署名②
署名合計　15,487

97080 熊本商工会議所
旧第一銀行熊本支店社屋保存推進の集い
970922/泰泰　旧第一銀行熊本支店社屋保存推進署名世話人会

② 旧日本勧業銀行熊本支店保存活動

熊日旧館保存活用

980118 旧第一銀行熊本支店社屋 清掃会

980211 **ピーエス・フォーラムin熊本**
主催：ピーエス㈱ 共催：熊本大学工学部建築系教室
・熊本まちづくり協議会・熊本まちなみトラスト

981128/熊本商工会議所
旧長六橋を考える集い

12月：街頭署名①
４月：街頭署名②
署名数約10,000
→第一勧銀本店に持参

990417/熊本大学工学部２号館223教室
建築探偵講演会：藤森照信氏
主催：日本建築学会九州支部熊本支所
・熊本県建築士会・熊本県建築士事務所協会
・熊本まちづくり協議会・熊本まちなみトラスト

990815/解体寸前の銀行前で見納会
990905/下通アーケード街頭報告会・街頭アンケート

×解体　解体×

③ 後藤商店活用研究

000930　PSフォーラム・・改装中間報告
0010　後藤商店建物診断・・西島眞理子

熊本合同倉庫（実測）

000912　月星化成熊本工場見学・・会員有志
このころ建物調査と史実調査進む

④ 月星化成熊本工場の活用研究

010804/PSオランジュリ
改装工事完了に伴う
オープンハウス

010803-08/熊本合同倉庫　さよなら赤れんが倉庫
主催：熊本市現代美術館　へ協力

解体×

020323　月星化成熊本工場**見学会**
産業考古学会他との共催／参加者110名

020727　月星化成熊本工場**見学と講演会**
産業考古学会他との共催／

⑤ 河原町プロジェクト

平成15年度**全国都市再生モデル調査**に採択

030215　月星化成熊本工場見学と撮影会
春日校区まちづくり委員会に協力

×解体

⑥ JR上熊本駅舎の活用保存研究

11月：街頭署名①
12月：街頭署名②
署名合計　11,814
↓
040531 市長・市議会へ
040602 知事・県議会へ
要望書提出

030629　JR上熊本駅**掃除とミニシンポ**
030706　熊本駅・上熊本駅**見学会**（産業遺産研究会主催）
040304/25　行政・活かす会のワークショップ①/②
040418 同③三の丸まで街歩きの後車輌基地見学
040511/040803　同④/⑤
041116 於．上通大森ビル　上熊本駅舎を活かすための拡大会議-1
041201/041220/050119/050325 同-２/同-３/同-４/同-５

旧日本セメント八代工場の研究

解体×

一部移築保存
赤レンガの電気室（M27築）
→熊本学園大学産業資料館
診療所（M44築）
→花峰館（金峰山山麓）
↓
２棟とも『登録文化財』
２棟とも産業考古学会
平成17年度表彰☆☆

0502 熊本市予算に計上 ▸050310 花園市民センター　行政からの説明会
050523 於．崇城大学　**上熊本駅舎を活かすまちづくりの会 設立総会**
熊本駅都心間協働のまちづくり協議会スタート→051127世話役交流会　※新町古町リーダー初顔合わせ

060701
移築完成記念式典

⑦ ベロタクシー支援

051227　設立総会と熊本県にNPO申請
060327　NPO法人熊本ホスピタリティネットワーク認証
060515　**熊本ベロタクシー出発式**

061202 上熊本・緑化部会WSどんぐり作戦

新町古町協働のWSで「食糧会館活用」
が事業メニューにあがる

0706☆☆まちづくり奨励賞受賞（日本都市計画家協会）
受賞者：上熊本駅舎を活かしたまちづくりの会

⑧ 新町・古町町屋活用の研究

［吸収］

08323 まちなみ交流会（於．PS）
町屋調査報告
080927 町屋見学会
081017 町屋オーナー・アンケート調査開始

080301 上熊本どんぐり鉢の植替え
080307 旧貯金支局 見学会
080510 シンポジウム**花畑別館の秘密**（現代美術館と共同後援）
081026 臨時総会　NPO実質解散決議
081104 マモル×MAMORU展シンポジウム（於．パレア）（共催）

090701
後藤商店
テナント誘致

090202 食糧会館ワークショップ
090425 町屋調査報告会と交流会

⑨ 旧貯金支局の活用保存研究

1936（昭和11）年築／設計・山田守
同じ山田守設計のNTT西日本九州病院（前逓信病院）は
1956（昭和31）年落成
※2003年、『日本におけるＤＯＣＯＭＯＭＯ百選』に選定

100116-17、24 新町古町の町屋を感じる
『町屋体験の日』かねや屋とご近所町屋をめぐる３日間

会に協力）

熊本市水道局の研究

1963（昭和38）年築／設計・村野藤吾
100617 熊本市水道局本庁舎 見学会

110129-30 **町屋体験の日Ⅱ**、町屋巡り
「町屋を使いたい」という町屋活用意向者の訪問相次ぐ

委員会に協力）

×解体

主な活動

16 **2012**平成24年

6.24●会員総会（於．早川倉庫）
写真展と車座**交流会：失われた遺産・甦る遺産・息づく遺産**

120519 山の上団地見学会

111220-120105 新町古町**町屋ライトアップ（第４回）**

11.23-26●熊本まちなみトラスト展（於．現代美術館）／現代美術館共催／くまもとアートポリス建築展2012協賛
12.24-31●第５回新町古町町屋ライトアップ／くまもとアートポリス建築展2012協賛

17 **2013**平成25年

6.30●会員総会（於．ＰＳオランジュリ）
冨重清治氏に聞く：わが国の写真史黎明期を生きた冨重利平とその写真をめぐって
★『熊本の近代化遺産』（弦書房）★12月（上巻）・2014.

Ａ：近代建築研究
Ｂ：町屋・武家屋敷研究
Ｃ：アーカイブ研究

18 **2014**平成26年

3.16-23熊本の近代化遺産写真展＠ＰＳオランジュリ

5.24●会員総会2014（於.西唐人町　西村邸）

4.06　上無田松尾神社（設計：　木島安史）Ａ見
10.19　ＮＨＫ旧放送所（熊本市清水町）Ａ
11.29　長崎次郎書店　Ａ

19 **2015**平成27年

150329☆熊日出版文化賞受賞

5.16●会員総会2015（於.川尻　大正蔵）

1.10　熊本県伝統工芸館（けんちく寿）Ａ
2.21　熊本県松橋収蔵庫　Ｃ
3.22　小川町まち歩き　Ｂ
5.03　旧高月邸（宇土市）Ｂ
3.21　熊本文学・歴史館　Ｂ（庭園）

20 **2016**平成28年

★4.14（前震）-16（本震）熊本大地震★

6.18●会員総会2016（於.西唐人町・西村邸）
→復興事務所開設
西村邸（季器家跡）に常駐
－161001

160730 日本イコモス国内委員会フォーラムin学園大
160809-11　復興ワークショップin清永本店
160829 延藤安弘氏講演会in早川倉庫
160922 文化財ドクター調査報告会in熊大百周年記念館
161015 全国街づくり会議in高岡で熊本地震報告
161101 ワールド・モニュメント財団（本部NY）in復興事務所
161210 日本イコモス総会で熊本地震・新町古町の被災状況報告
161228 都市計画学会九州支部で熊本地震・新町古町の被災状況報告

21 **2017**平成29年

170227 ワールド・モニュメント財団への支援申請

NPO 1　170326 **ＮＰＯ法人熊本まちなみトラスト設立総会**
於ＰＳオランジュリ
170530 **ＮＰＯ認証**

170720 ＷＭＦとの契約
170803　契約伝達式

170305 第7回けんちく寿「孤風院」
170612「復興と癒しの幻燈会」延藤安弘先生　於 熊大まちなか工房
170924 歴史を活かしたまちづくりシンポジウム 於 市役所14Ｆホール
（日本イコモス国内委員会主催／ＫＭＴは後援と企画運営協力）
171117-19　全国町並みゼミin名古屋に参加
171215 防災フォーラム　新町古町「歴史的環境の回復」報告

NPO 2 **2018**平成30年

180519 **年次総会2018** NPO**第１期活動報告**
於 ＰＳオランジュリ

180522 ＷＭＦ・フリーマン財団会長訪問視察

180127 新町古町復興イベント
「おでんを食べて語り継ぐon the明八橋」
180316 第8回けんちく寿「旧熊本貯金支局」
（実行委員会に協力）
180901 三角再発見ツアー

NPO 3 **2019**平成31年

190518 **年次総会2018** NPO**第2期活動報告**
於 住友銀行旧熊本支店社屋

190118 Phase2契約
（PSオランジュリ、清永本店支援）
2019 3月「2016年熊本地震日本イコモス報告書」
文化財の被害状況と復旧・復興への提言　執筆協力

190216 第9回けんちく寿「熊本駅現在未来」（後援
190323 九州町並みゼミ（臼杵）に参加

熊本まちなみトラストが取組んだ主要プロジェクト（ＮＰＯ設立以前 1997-2016）

⑨ 旧貯金支局の活用保存研究

旧貯金支局の保存活用に関する取組みは 2008 年、若手建築家グループとの展覧会開会の共催から始まった。分離派建築運動の旗手であった山田守設計で 1936（昭和 11）年に建造された名建築である。
2012 年に解体が報じられ「活かす会」が設立されると部会を設置して対応した。
同じく山田守設計の旧逓信病院の解体も近まり DOCOMOMO 等の思いを同じくする団体と協調しながらシンポジウムや見学会の開催、新聞への投稿などのキャンペーンを展開したが、旧貯金支局は 2017 年、旧逓信病院は 2018 年に解体された。

旧貯金支局（最終：熊本市花端別館）1936－2017

旧逓信病院（最終：くまもと森都総合病院）1955－2017

特定課題　　**▼特定課題に対応したシンポジウム開催等**

9.29-30 全国まちづくり会議2012in神戸にパネル出展（旧神戸生糸検査所）

11.24-25 文化経済学会〈日本〉研究大会熊本大会（熊本大学本荘キャンパス）（本会共催事業）
12.01 第3回けんちく寿プロジェクト「旧熊本逓信病院」（本会後援事業）

⑧ 新町・古町 町屋活用の研究→復興支援　被災文化遺産所有者等連絡協議会

⑨ 旧貯金支局の活用保存研究　熊本市花畑町別館を活かす会を支援

⑥ JR上熊本駅舎の活用保存研究

⑩ 冨重写真所

2.5 冨重写真所特別委員会発足
5.13 同上委員会④
10.05-06 全国まちづくり会議2012 in長岡にパネル出展
12.07 第4回けんちく寿プロジェクト「九州学院講堂」
学会＆BBQ

11.16冨重写真所シンポジウム／熊本学園大学高橋記念ホール

2.02-11冨重写真所展覧会／城彩苑（五高記念館に協力）
2.27-3.31冨重写真所展覧会／熊本大学五高記念館（五高記念館に協力）
9.27シンポジウム『熊本の近代と冨重利平のまなざし』主催：熊本学園大学

5.10 第5回けんちく寿「熊本県伝統工芸館」

3.14上熊本新駅舎の開業と旧駅舎の保存10周年を祝う会（「活かす会」に参加）

10.03-04 全国まちづくり会議2012 in東京にパネル出展

151220 花畑別館を残して・・・市民シンポジウム（協力）

4.12上熊本駅東口駅前広場に設置する公衆トイレの提案と要望（「活かす会」に参加）

160109 第6回けんちく寿プロジェクト(協力)「八代市立未来の森ミュージアム」

161023 第２回花畑町別館シンポジウム（共催）

161112 被災文化遺産所有者等連絡協議会設立総会inＰＳオランジュリ
↓毎週幹事会開催
↓2017.8月～清永本店部会へ移行

×解体

170209 アレックス・カー講演会 inＰＳオランジュリ
170220 熊本市議会へ請願
170418 被連協 第６回幹事会に県（文化課）、市（文化振興課）参加 文化財基金からの支援制度創設の説明

6月 森本襖表具材料店 解体
7月 鈴木邸（旧中村小児科医院）解体

171004 三井住友銀行熊本支店社屋保存活用連絡協議会第１回会合 於 国際交流会館
171126 三井住友銀行熊本支店社屋の保存活用を考えるフォーラム 於 ＰＳオランジュリ

2017.8月～

⑪ 清永本店部会

2017.10月～

⑫ 住友支店部会

180316 テナントミックス事業最終会議
180414 被連協シンポ＆交流会「デザインコード」
180821 熊本市歴史まちづくり協議会①
181002 歴まち語る会（古町地区）①
181024 歴まち語る会（古町地区）②
190123 熊本市歴史まちづくり協議会②

3月 安田ふとん店 解体

181116後藤商店焼失

180309 清永本店設計チーム調査開始
180324/31 清永本店おかたづけワークショップ

181218 寄付金贈呈式

181221 社屋買取カリーノ本社を訪問
190124 社屋見学会
3月 社屋活用に向け行政担当課と協議

熊本まちなみトラストが取組んだ主要プロジェクト（ＮＰＯ設立以前 1997-2016）

⑨ 冨重写真所の研究とプレゼンテーション

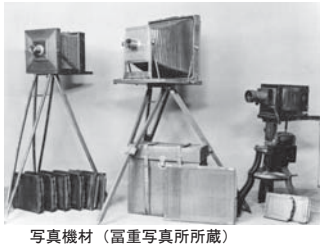
明治３（1870）年に熊本市で写真所を開業した冨重利平の偉業は、熊本の明治維新とその後の近代化の足跡を検証するために欠かせない一次資料となっている。また、4代目の冨重清治氏は熊本まちなみトラストの前身古町研究会の会員であり、活動を共にした。

冨重写真所の文化的価値は、所蔵する写真の原板、機材、スタジオなどの複合した文化財であり、被写体は、西南戦争で焼失する以前の熊本城をはじめとする公共建築物、肖像写真、風俗写真と多岐にわたる。

熊本まちなみトラストは、熊本大学五高記念館、熊本学園大学等と共同で写真展やシンポジウムの企画開催を行ってきた。

坪井川から見た冨重写真所
明治期の写真スタジオの遺構として貴重
2006 年 国の登録有形文化財に登録

昭和初期の映画館（冨重写真所所蔵）



写真機材（冨重写真所所蔵）

⑧ 新町古町復興支援

日本イコモス国内委員会との共同事業

2016 年 4 月熊本地震から 1 週間も経たない同月 25 日には日本イコモス国内委員会事務局長が来熊され熊本市等関係機関を巡回し、調査の準備が行われた。 調査団による調査は、 5月 3 日～ 7 日に 18 人の専門家によって熊本県内各地の文化財の被災状況の調査が行われ、 5 月 12 日には緊急アピール文を国内および世界に向けて発信された。 熊本地震に関する被害状況と復興に関しては、 その後英語版を含め出版が続いている。

同年 7 月 30 日にはフォーラム、 2017 年 6 月 18 日には熊本市長を招いてシンポジウムが開催されているが、 熊本まちなみトラストは、現地事務局として企画運営に携わった。

2016 年 5 月 3 日熊本城調査
この日から 17 日間日本イコモス国内委員会調査団によって県内各地の被災文化財の調査が行われた

⑧ 新町古町復興支援

現地事務所の開設と常駐

2016 年 4 月 14 日・16 日、 震度 6 弱、 6 強の2度の震災を受けた直後の 4 月 20 日、 予定通り開催した熊本まちなみトラストの例会には 6 人が参集した。 当面は被災した自宅や仕事場の復旧を主としながらも、 尋常でない状況への対応が必要であることを確認して散会した。

新町古町地区の歴史的建造物が全倒壊を含み激しく被災していることが明らかになるにつれ、 現地事務所を開設し常駐しながら被災文化遺産の所有者に寄り添える体制を整えることが急務と思われた。

同年 6 月 18 日の年次総会での議決を経て、 被災して営業できなくなった季器家カフェの跡を使って常駐型の現地事務所を開設した。

2016 年 6 月末～ 9 月末の 3 ヶ月
季器家カフェの跡を利用して現地事務所を開設した

2016 年 6 月 18 日　総会も現地事務所で開催

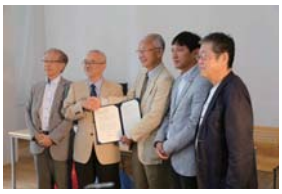
⑧ 新町古町復興支援

WMFワールド・モニュメント財団とのパートナーシップ契約

2016 年 5 月の日本イコモス国内委員会の調査団の一員であったワールド・モニュメント財団の日本代表から熊本まちなみトラストが同財団の支援を受けるよう強く勧められた。

2016 年 11 月には同財団の構成員であるフリーマン財団会長の訪問を受け、 同財団への支援申請が本格化し、 翌 2017 年 7 月に同財団と熊本まちなみトラストがパートナーシップ契約を結び、 唐人町の 5 軒の被災文化遺産への復旧工事支援が確定した。

2016 年 11 月 1 日　フリーマン財団会長との懇談会



2017 年 8 月 3 日
WMFとの契約　記者発表

⑧ 新町古町復興支援

復興イベントの開催

シンポジウムやフォーラムのほかに、 新町古町の復旧復興の現状を確認し次のステップへの英気を養うコミュニティ応援イベントとしては、WMFの支援を受けて実施した「明八橋の上でおでんを食べて城下町の未来を語ろう」というイベントが挙げられる。 当日は地元小学校の小学生を連れたお母さんを中心に、 高校生、 若者、 高齢者など 200 人以上の参加を得た。

2018 年 1 月 27 日
明八橋の上でおでんを食べて城下町の未来を語ろう

⑧ 新町古町復興支援

被連協の設立と運営支援

被災文化遺産所有者等連絡協議会

被災した文化遺産の所有者の連絡協議会が必要、という着想は日本イコモス国内委員会との共同作業から得ていた。一方では、被災した文化遺産は未指定であるために自力で復旧再建しなければならず、特別な補助金が無ければ再建は困難であるという切羽詰った状況があり、熊本まちなみトラストが事務局となって協議会が設立された。

2016 年 11 月 12 日　被災文化遺産所有者等連絡協議会催　設立総会

2017 年 6 月 5 日　熊本市長を訪問

⑪ 新町古町復興支援

清永本店部会の継続

被災文化遺産所有者等連絡協議会の幹事会は、主として会場を被災した清永本店の 2 階で開催された。4 月 18 日幹事会では創設された被災文化財等復旧復興事業補助金の制度について概要説明を受け、さらなる支援策が必要な大規模被害の数軒に関して県・市への陳情を続けた後、8 月末から清永本店に的を絞った会議（清永本店部会）に移行した。

2017 年 4 月 4 日
被災文化遺産所有者等連絡協議会
幹事会
＠被災した清永本店 2 階

同年 8 月 8 日第 22 回幹事会の後
8 月末から
清永本店に的を絞った部会に移行

2017 年 12 月 30 日　復旧工事現場

2017 年 9 月復旧工事着工後は
毎週火曜日の午前中に現場打合せを行い、
その日の夜に清永家を交えて
工事の報告と事業全体の課題等を話し合う、清永本店部会を継続している

⑫

住友支店部会

保存活用協議会

旧住友銀行熊本支店（1934（昭和 9）年建造）は、熊本地震での被害はなかったが、2017 年 8 月支店機能の移転が発表された。そこで、熊本まちなみトラストは、空き家化した社屋が取り壊されないように関係機関に働きかける事を目的として地元自治協議会などと共に連絡協議会を立ち上げた（同年 10 月 30 日）。その後同年末までに地元紙への投稿、フォーラムの開催等同社屋の文化的価値をアピールすると共に、銀行に対して保存活用のお願いを申し入れた。

2017 年 11 月 26 日
城下町を語り継ぐフォーラム
三井住友銀行熊本支店の保存活用を考える

2017 年 12 月 19 日
銀行本店との打合せ

協議会は 2018 年 11 月までに 12 回開催され、その間には銀行との懇談等も行われた。同年 12 月初め保存活用を前提にした買い取手が見つかったことを銀行から明らかにされた。

協議会では早速買取られたカリーノに感謝の意を伝えるために訪問し見学会を申し入れた。今後再利用していくためには多くの難関が予想されるが、熊本まちなみトラストは、寄り添いながら相談に対応していく予定である。

1934（昭和 9）年建造の
旧住友銀行熊本支店社屋の
正面アーチとギリシャ様式の柱頭

2019 年 1 月 24 日見学会

ＫＭＴのこれまでの活動実績から見えてきたこと

熊本まちなみトラスト

20 年間の活動と成果

PSオランジュリを初めとする**近代化遺産**の保存活用

ベロタクシーや河原町など**若者文化**の育成

新町古町の町屋調査と **町屋体験** 等の町屋利活用

活動から得られた知見

近代化遺産は**コミュニティの絆**となる ことがわかった

近代化遺産は**観光資源**になる ことがわかった

→KMTの活動は「リノベーション（再生）」という世界的潮流である都市の新陳代謝の手法と一致している

←KMTの活動は世代を超えて共感することができた

←KMTの活動は国際的にも評価された（WMFからの支援）

新規流入住民を巻き込み
伴走者として
活動を拡大していくことが大切だ！

平成 28 年熊本地震

熊本城は残っても
城下町が
消滅するかも
しれない

という危機感

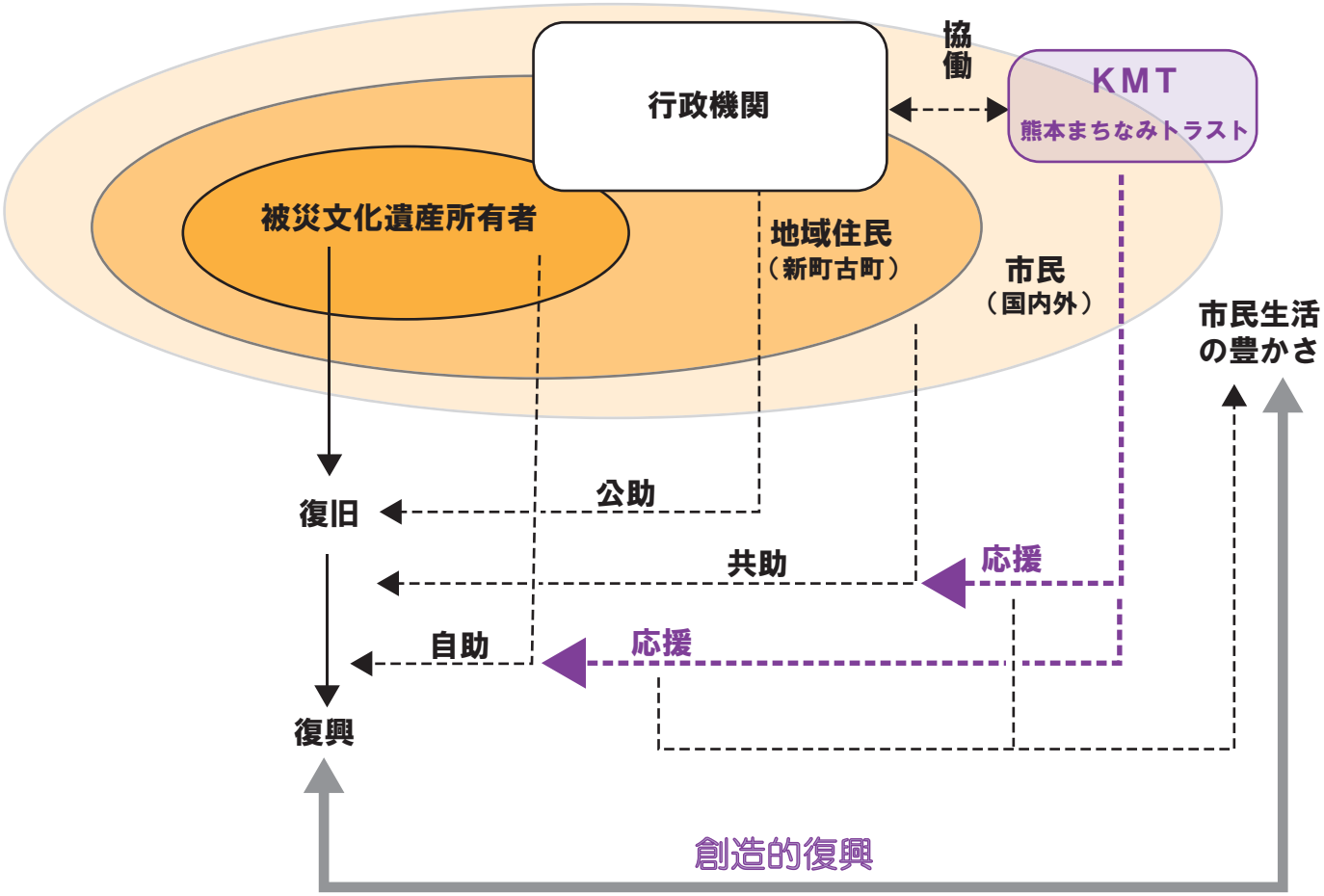
ＮＰＯ法人化

城下町の
創造的復興

現在位置

ＫＭＴの未来に向けた活動目標

熊本まちなみトラスト



【未来に向けた活動目標】

新たな転入者や若い世代は「街の記憶」を共有することが難しい。一方、新町古町をはじめとする歴史ある街には伝統を活かす新旧の事業者が息づき、まちの景観と共に未来のコミュニティにとって魅力的な要素となっている。そのような環境に熊本まちなみトラストの活動が加わることで新旧住民の「記憶の継承」が促進され、地域住民のコミュニティの絆が強まり、地域資源の観光客への訴求力も強まる。そのような好循環を生み出し、市民意識がリノベーション（再生）され新しい価値を創出し続けることを目標とする。

都市や地域は人間社会と同じように赤ん坊（新しい建物）から高齢者（古い建物）までの各世代が尊重されイキイキとした生活が営まれることが望まれる。熊本まちなみトラストが関わる近代の歴史的文化遺産は、少し昔（半過去）の文化遺産であり現在の生活環境に至る経路がたどりやすいので、都市や地域の「記憶の継承」を助けることに大いに役に立つ。熊本地震からの復旧・復興の経験は、個々の近代化遺産の持つファミリーヒストリーが集まって地域のヒストリーが紡がれていることの再発見であった。その経験を熊本まちなみトラストの未来の活動に活かしたい。